

## 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価

## ＜地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表の要約＞

事業名	事業結果概要	事業評価結果(自己評価)・今後の改善点	地方運輸局等における二次評価結果
駅・バス停別利用促進啓発事業	市と交通事業者が合同で、大泉駅を中心に戸別訪問等による利用啓発活動を実施した。 また、これまでの取組みを踏まえ、戸別訪問の手順やノウハウをまとめた手引きを作成した。	【事業実施の適切性】 計画通り実施。 【今後の改善点】 交通事業者が主体的に沿線住民に利用啓発活動を実施できるよう、戸別訪問に関する具体的な手法や着眼点・留意点等をまとめた手引きを提供するなどし、支援していく。	(3事業共通) 今後も引き続き示された改善点の実施を進め、地域公共交通網形成計画に掲げる「公共交通1日平均利用者数の富山市人口当たりの割合の増」の目標の達成に向けて、地域一体となって事業が実施されることを期待する。
のりもの語り教育教材修正	小学生3～6年生を対象とする社会科等の学習教材・指導テキストを修正し製本した。また、アンケートで教材を使用していないと回答した小学校への理由の聞き取りや説明を行った。	【事業実施の適切性】 計画通り実施。 【今後の改善点】 平成31年度は市内全校(66校)で、のりもの語り教育を実施できる見込みになったことから、教材の質的な向上を目指した取組みを行う。	
富山市都市交通協議会の開催	平成30年9月に富山市都市交通協議会を開催し、富山市地域公共交通網形成計画に基づく事業評価を実施した。	【事業実施の適切性】 計画通り実施。 【今後の改善点】 公共交通利用者の増加要因等について、どのようなデータ分析を行っていけば効果的か検討を行っていく。	

※「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表」は、北陸信越運輸局及び市のホームページにて公開いたします。